

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月6日

事業所名 放課後等デイサービスビリーブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習スペースと遊びの環境を分けられるように工夫されている。下校時間が遅いお子様には、プレイルームとは別に、集中できる学習環境の提供ができるよう2階等の部屋も利用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準通りに設置出来ている。常勤・非常勤のスタッフを含め、1日の平均で5名以上職員を配置するようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	一軒家を借りているため、バリアフリー化は難しいが、活動スペースにジョイントマットを敷く等、段差や衝撃が軽くなるようお子様が安全に過ごせるよう配慮している。	重度の児童の利用がないため、バリアフリーではないが室内にジョイントマットを敷き、角にクッション材を貼る等転倒した際に危険がないよう工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		お子様が帰宅される前の時間を利用し、職員間でのミーティングの中で、情報共有や事案についての協議や振り返り等を行い、保育や支援の改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年保護者の方にご協力いただきアンケートを実施している。頂いた意見を真摯に受け止め、その都度職員間で協議し工夫や改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート結果を取りまとめ、HPIにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	改善できるところは話し合っ、工夫するように考えている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年に数回職員全体での研修を行っており、研修内容も時季に応じたものや、保育・支援に関わるもの、その都度必要に応じて行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		管理者・相談が定期的にモニタリングを行い、保護者やお子様の様子等情報共有し様々な角度から最善に繋げられるよう支援計画を作成している。	学年が上がリ、高学年や中学生になるお子様は、本人の意見や自己決定を促し目標を聞いたりしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		お子様の成長に合わせてアセスメントは定期的に取り直しを行うようにしている。また利用開始時からのアセスメントも保管し経緯や現状を把握できるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日頃のイベント等、子どもたちの状況を見ながら内容を考慮している。職員間での計画・相談もその都度行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月イベントの内容は重複しないように組むようにしている。また季節の行事を取り入れたり、マンネリ化しないよう新しい活動内容も積極的に取り入れるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇期間は平日にできないような1日の流れの中で生活訓練(靴洗・入浴・買い物・料理)を取り入れたり、屋外活動・社会科見学・外食体験・製作活動など私生活に役立つ活動を企画して支援に繋げている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎月イベントを計画していくなかで、個別活動と集団活動と総合的に支援できるよう内容を話し合っ、日々のイベントを行っている。また発語や手先が上手く使えないお子様については個別に支援を行ったりしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前と午後に全体ミーティングを行い、職員間で打ち合わせと情報共有をしている。特に休日や長期休暇等のイベント等は企画書からスケジュールまで共有し、役割分担等周知してイベントを行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々の活動は日報に記入している。その日の全体・個人で気づきがあったことは職員間で報告・連絡・相談・共有している。翌日のミーティングにて情報共有を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		1日の流れや全体の事は業務日報に記録し、利用されているご家庭には連絡帳にて支援内容やお子様の様子を記入し、記録として複写を保管している。トラブル等は別紙にて対応した記録を取り、職員間で共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとにモニタリングを行っている。事業所での様子やご家庭での様子等情報共有を行い支援内容等の振り返りや改善に繋げている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		お子様の成長とともに課題の設定や計画を立てて支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		コロナ渦も落ち着き、担当者会議やモニタリングなど可能な限り事業所で行い管理者や支援員が参加しお子様の様子を共有できるようにしている。 ・対面が難しい場合は電話やWebなどを活用して担当者会議を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校数も多いため、学校送迎時や電話にて連絡をとらせていただいている。 ・下校時間や年間行事はお手紙をいただいたり、ホームページ等で確認するようにしている ・子どもの様子などは学校送迎の際に先生と情報共有をさせていただいている。 ・必要に応じて在籍されているお子様の利用日をカレンダーを作成してお伝えし連携を取らせていただいている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・現在医療ケアが必要な利用者はいないが、病院との連携は必要に応じて保護者を通して行っている。 ・病院受診の結果や服薬する薬があった場合処方箋等を取らせていただくようにしている。処方開始や薬の変更等があればその都度共有している。 ・服薬に伴うお子様の変化などは保護者に伝えるよう情報共有している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		利用児童全員ではないが必要に応じて情報共有させてもらっている。	情報が必要な場合は積極的に連携を図る。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	対象となる児童はいないが、相談支援と連携を取りながらより良い将来が迎えられるよう協力していく。またケース会議等で情報共有させてもらっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・研修等があれば数名参加させていただき、内容は後日職員間で情報共有して学んでいる。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナ渦やインフルエンザなどの感染症の流行もあったためできていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		基幹相談支援センターが主催する会議・研修等に全員ではないが担当を決めて参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		その日の活動内容や子どもの様子を送迎時などでお伝えしたり、連絡帳に記載して共有している。また、詳細を望まれるご家庭には電話や担当者会議などでお伝えしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要と思われるご家庭には、支援方法の提供を行ったり、職員が協力しながらサポートを行っている。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学や契約時に必ず書面や事例を用いて説明しご理解をいただいている。 利用開始後に運営規定やサービス内容について保護者より問い合わせがある時にはその都度書面等用いて納得していただけるよう説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ご相談いただいた際は、その都度対応しながら一緒に悩み、考え、気持ちに寄り添いながら支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は11月末に3事業所(ビリーブ・ビリーブ諸岡・ビリーブ笹原)合同で交流会と保護者説明会を行った。様々なご意見をいただいたり、共有することができて良かった。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情が発生した場合、管理者、職員に周知し真摯に受け止め、迅速にお子様や保護者への誠意ある対応心がけている。また、再発防止の徹底や今後も保護者や子どもたちが安心して過ごせるよう努める。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定や活動概要については月1回配布している。活動様子についてはHPのブログにて公開している。利用者には活動写真も配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報漏洩防止の為、社外への持ち出しは禁止している。また、就業時の誓約書や規定などでも注意喚起している。さらに、令和4年4月施行の改正個人情報保護法に対応した施策(新たな保険の加入など)を行っている	それぞれ意識して業務を行う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		各ご家庭にイベントの内容を詳細に分かりやすく記載し、ご理解ご協力していただけるよう説明を行うなど工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナやインフルエンザ等感染症の影響でできていない。	今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・全職員で研修を行い周知している。また、その日休みの職員や非常勤職員にも研修内容を回覧で共有している。 ・県や市などからの情報を基にその時に応じたマニュアルを策定、その都度改定を行っている。 ・保護者にはマニュアルを作成し配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回以上避難訓練を3事業所合同で実施し、出火場所に応じた避難経路を利用者・職員全体で把握できるよう訓練している。また、子ども達には避難に必要な知識を簡単なクイズ等交えて分かりやすく教えている。その都度タイム等の記録をとり、振り返りの時間を設けている。福岡市防災センターでの見学・体験も行事に取り入れたりしている。	今後も消防署などと連携を取りながら、講習や研修などを計画していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置し、マニュアルの策定やマニュアルや事例に基づく資料を参考に研修も行っている。支援方法を共有して対応するよう心がけている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在身体拘束が必要とされるケースはないが、今後必要となった場合は保護者と連携を取りながら支援方法を検討し、計画を立てていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在アレルギーの利用児はいないが今後アレルギー対応が必要な子どもが利用する場合は、食事を提供する際メニュー等の配慮を行う。保護者からアレルギーの内容や対処法など情報共有し職員間で周知徹底を行う。また医師の指示書に従った対応をしていく。	食事提供の際は、メニューに十分気を付けている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起こったその都度報告書を作成し、全体ミーティング等でも振り返りや対策を検討するなど職員全体で共有している。	